

平塚柔道協会HP内のブログ充実しています!

☆ 平 柔 通 信 ☆

平塚柔道協会発行
責任者 会長 奥山晴治

今月の目標・

釣り手の使い方で相手との間合いをコントロールしよう

今年も磐石! ~ 秦野柔道協会会長杯優勝 ~



2月11日(月:祝), 秦野市総合体育館道場において、毎年恒例の秦野市柔道協会会長杯が開催されました。当協会は、この大会名になってから負けなしの3連覇中、秦野総合高校杯から数えれば実に7連覇中であり、いわば、「絶対に負けれない戦い」ともいえる大事な大会の一つです。A・B、2チームをエントリーしました。予選リーグは、両チーム共に1位通過し、決勝トーナメントへ、順調に勝ち上がりましたが、両チームは準決勝で対決となりました。結果は2対0でAチームが勝ちましたが、Bチームも逆サイドにいたら決勝まで勝ち上がったことと思います。小田原との決勝となりましたが、前3つをしっかりと取り、3対0で、今年も優勝することができました。今年も湘南地区では無敵の平柔、次は3月の全国予選です。頑張るぞ!

恒例のスキー教室実施! ~ 見る見る上達しました! ~

2月9日及び10日、毎年恒例の平柔スキー教室が開催されました。今回は小学6年を中心とする小学生と、中学3年生など、24名が参加しました。初めは全く滑れなかった子供もいましたが、栗田インストラクター(栗田先生)など、一流のコーチ陣の指導のおかげで、午後には自力で滑れるようになったようです。中学3年生にとっては、中学時代の貴重な思い出の一つになったことでしょう。今回も栗田先生には多大なご尽力をいただきました。ありがとうございました。
なお、ゲレンデには、お笑い芸人の鬼奴さんもいました。



(3月の予定)

- | | |
|----------------|----------------|
| 10日 小田原合同稽古 | 17日 送別ボウリング大会 |
| 21日 全国小学生大会県予選 | 24日 スポーツフェスタ |
| 28日 月次試合 | 30日 上溝柔道教室柔道大会 |

竹中先生が平塚市スポーツ功労賞を受賞しました!

当協会の竹中先生が、このたび、長年の当協会での少年柔道指導の功績が認められ、平塚市スポーツ功労者として表彰されました。おめでとうございます。竹中先生、今後ともよろしくお祈りします。

(雑感) ~いだてん~

今年の大河ドラマ「いだてん~東京オリムピック噺(ばなし)~」が面白い。ドラマ前半の主役、日本人初のオリンピック選手として、1912年ストックホルムオリンピックのマラソンに出場した金栗四三(かなぐり しそう)を中村勘九郎が演じている。彼は熊本から東京高等師範学校(現在の筑波大学の前身)に1910年に入学、翌年のオリンピック予選会に出場し、足袋で走って当時の世界記録を27分も短縮する大記録を出してオリンピックに出場することになる。この日本初オリンピックへの参加に尽力したのが、柔道の創始者である嘉納治五郎先生(ドラマでは役所公司が演じている。)である。嘉納先生と言えば、「柔道の創始者」ということしか知らない人も多いと思うが、先生は教育者(前述の師範学校の校長も務めている。)であり、また、東洋初のIOC(国際オリンピック委員会)委員にもなるなど、柔道のみならず、「日本のスポーツ界全体の父」であるといっても過言ではない。嘉納先生のこのような尽力が、後に柔道が世界のスポーツ(JUDO)として認知され、大きく発展することにもつながったのだろう。改めて先生の偉大さを知るとともに、平柔で柔道を学んだ子供達が、いつの日か、世界で活躍するそのときに、嘉納先生の教えである「精力善用 自他共栄」の精神を、世界に普及させてくれることを願ってやまない。(五)